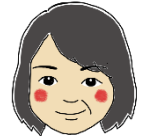


## 運動会も終わり、研究授業等へむけて

運動会お疲れ様でした。子供達のがんばり、先生方のがんばりがたくさん見られた運動会でした。今後は、学校訪問、研究授業等授業をがんばっていきましょう。

今回は、教材研究と道徳における ICT の活用を紹介します。



### 教材研究

先生方は、どのように教材研究をしていますか。○指導書を読む ○本を買って読む。○インターネットで調べる。○先輩の先生に聞く。さまざまあると思います。今回4年部では、白濱先生の初任研の授業で「ごんぎつね」を行うので、「ごんぎつね」の教材研究を3人でしているところです。私も初任、2年目と4年担任で、「ごんぎつね」は何度もしたことがあります。毎回悩みながら実践しているところです。私の教材研究の一つとして、「先輩の先生に聞く」をします。今回竹田先生とお話をする機会が多く、「ごんぎつね」についても話をしました。

**「ごん、おまいだったのか。いつもくりをくれたのは。」**

6の場面の兵十の言葉です。ごんをうって、はじめて、くりや松茸をくれたのは、ごんだったと気づく兵十。この言葉の「~か」には、3つの意味があるそうです。

### ①感嘆②疑問③反語

この3つについて子供達と話し合うのもおもしろいのではないかと思います。

ごんの挿絵がかわりました。



### 道徳における ICT 活用

道徳での ICT 活用は、教材文を電子黒板で提示する。終末で写真を見せる。などがあると思います。ロイロノートで、活用した実践を紹介します。

主人公が2つの心で悩む場面で心情スケールを使いました。

自分はどの位置が立場かネームカードでは、ロイロノートを配付しました。ロイロノートは、目先が変わり、意欲が高まりましたが、タイピングがまだまだ遅いので、発表や、そのあとの深める発問について、考えさせる時間がなくなってしまうという課題も見えました。ロイロが本当に必要かを教材研究する必要がありますね。

